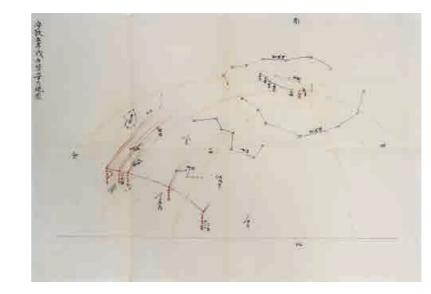
伝統権威

(大西家文書)

國學院大學図書館蔵 縦32.5cm×横50.4cm 久我大納言通誠は、上卿(担当の公卿)としてこれ に携わった。



継承・発展させる事で人々と〈つながり〉、 た古文書を通して、 などを多く執り行っていた。そして、 朝廷と公家は、日常的、かつ天変地異など臨時的に、 江戸時代に権力から遠ざけられた印象のある朝廷・公家に関連し 権威の源泉としての姿をみてい 宗教・文化・学問・身分などに権威を付与する 国家鎮護のための儀礼 また、口宣案・御教

安政五年戊午彗星出現図(土御門家記録)

國學院大學図書館蔵 縦27.7cm×横40.3cm

安政5(1858)年出現の彗星の位置を測量・記録した もの。彗星は妖星として忌まれたが、嘉永6年(1853) 年に現れた際には黒船が渡来し、この年には安政の大 獄がおきた。

ミュージアムトーク

MUSEUM TALK

6月18日(土) 14:00~14:30

テーマ: **戦乱から平和へ**

7月2日(土) 14:00~14:30 テーマ: 江戸時代を支える民衆

> ---- 講師 ----根岸茂夫

(國學院大學文学部教授)

無料・申込不要

古文書で〈つなぐ〉江戸時代

会期:平成28年6月17日(金)~7月16日(土) 会場:國學院大學博物館 企画展示室

監修:根岸 茂夫(國學院大學文学部教授)

執筆: 髙見澤美紀 (國學院大學 研究開発推進機構客員研究員) 卓(國學院大學研究開発推進機構助教)

國學院大學博物館 Kokugakuin University Museum

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 [國學院大學渋谷キャンパス内] TEL: 03-5466-0359 WEB: http://museum.kokugakuin.ac.jp/

午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) ◎ 会期中、休館日はありません。

都営バス(渋谷駅東口バスターミナル54番のりば学03日赤医療センター行)「国学院大学前」下車

【表参道駅から】 👔 表参道駅(地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線) B1出口から徒歩約15分

【恵比寿駅から】 (JR山手線・地下鉄日比谷線) から徒歩約15分 都営バス(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター行)「東四丁目」下車

本展示は國學院大學校史 学術資産研究センターで進め ている研究事業「國學院大學 の学術資産の研究と展示公開」 の成果の一部である。



慶長7(1602)年9月23日作成の検地帳。

國學院大學図書館蔵 縦32.5cm×横21.5cm

戦乱 られた徳川家康は江戸幕府を開き、平和の維持を理念とした。 戦乱の時代を経て、慶長八(一六〇三)年、征夷大将軍に任ぜ から平

その実現に向けて、武家政権としての「武威」は保ちながらも、 を創り出し、次代へ〈つなげて〉いったかを古文書から追って 文書による支配と、「歳中行事記」などに記された江戸城内外 本章では徳川政権が戦乱の世からどのように「徳川の平和」

での儀礼による秩序や由緒を重視した。



徳川家康禁制 (吉田家文書)

國學院大學図書館蔵 縦36.7cm×横53.3cm

を〈つなぐ〉と元禄期に起きた〝あの事件〟

が連想されませんか?

享保期の裁

許絵図は三〇〇年前に土地の争論を裁定したものですが、その境界線

また、古文書は過去と現在という時間も〈つなぎ〉ます。

は現在でも変わっていません。

目の前にある古文書が江戸時代と現在を〈つなぎ〉、そして当

時の人々の想いを私たちに伝えているのです。

本展示から、古文書がさまざまな形で〈つながる〉

様子をお楽しみください

義央書状」:「脇坂常征赤穂城請取行列図」:「荷田春満消息貼込屛風」

表・奥絵図」の松の廊下…「武家装束着用図」の衣装…「高家吉良

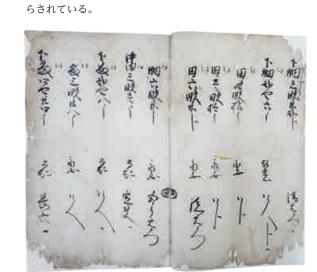
姿や事件の全体像が見えてきます。たとえば、「江戸城本丸御殿

古文書が伝える情報を〈つなぐ〉と、さまざまな社会の

古文書が

〈つなぐ〉

も の 関ヶ原合戦の直後、慶長5(1600)年9 月21日に京都の吉田神社に宛てて出さ れた禁制。戦場となった地域の悲惨さを 物語る。家康の朱印「忠恕」が押印される。



年貢の基本台帳であるため、改竄を防ぐさまざまな工夫が凝

すれる

甲州山梨郡栗原筋 三日市場村宗旨改帳

宝永2(1705)年8月に作成され



で文書を生活・生産の保証に〈つなげて〉いく民衆の姿を古文書から

りようが文書による支配を可能にし、平和を維持する一端をも担った。

本章では、文書による支配を実現させたしくみと、文字を習うこと

れつつ、

ジがあるかもしれない。しかし、古文書からは、幕府の支配を受け入

自治性・自律性を保つ村の姿が見いだせる。こうした村のあ

の村には、領主からの厳しい年貢の取り立てといった〝暗い〞イメー

江戸時代に発達した生産や流通を担ったのは民衆である。江戸時代

國學院大學図書館蔵 縦30.3cm×横21.4cm

た宗門人別改帳。 柳沢吉保が甲斐に入封した際に、



民衆の章

江戸時代を支える

國學院大學図書館蔵 縦174.5cm×横255.3cm 享保5(1720)年10月、町奉行・ 大岡忠相ら評定所によって審議 された野境論の裁許絵図。表は 争論となった地域の絵図。裏に は判決文。江戸時代における裁

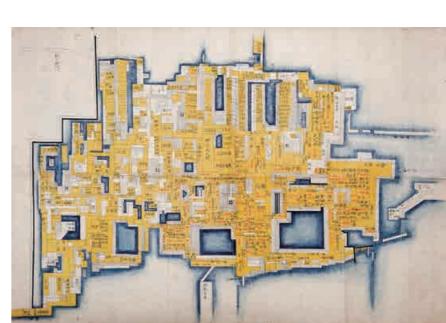
判の進行過程も窺える。

個人蔵 縦30.7cm×横21.6cm

江戸城の儀式で着用する装束図。 著者の松岡辰方は、江戸定府の久 留米藩士であり、有職故実を伊勢 貞丈の孫・貞春に、国学を塙保己 一に学んだ。



江戸城本丸の政治・儀礼空間であ る表と、将軍の居住空間である奥 が、膨大な部屋で構成されている。 なぜか大奥への通路が一本描かれ ていない。



武家装束着用図

